

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和6年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
燕・弥彦総合事務組合	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組

事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			現行の経営体制を継続
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●			●	

抜本的な改革の取組状況

取組事項

(水道事業)広域化等

実施済	●	(実施類型)	経営統合 ● 施設管理の共同化	施設の共同設置・利用 ● 管理の一体化	(取組の概要)	燕市・弥彦村の共通課題である浄水場施設の老朽化等の課題に対して、既存浄水場を統廃合し、新たに1つの統合浄水場を建設することを基本とした浄水場施設の再構築を行う。また、両市村の水道事業は既存の燕・弥彦総合事務組合で経営を行い、経営の効率化を図る。経営統合により、①水道施設の効率的・効果的な配置、②交付金活用(約94億円)による建設コストの削減、③管理体制の強化、④水道サービスの向上、⑤持続可能な財政基盤の確立、の効果が期待できる。	(実施(予定)時期)
実施予定					(取組の効果額)	- 百万円(年)	
検討中		(取組の概要)			(取組の効果額内訳)	効果額未算定	
		(検討状況・課題)					

取組事項

民間活用(PPP/PFI方式の活用)

実施済	●	(取組の概要)	BTO方式 BOT方式 BOO方式 DB方式 DBO方式	方式 公共施設等運営権方式(コンセッション方式) 港湾運営会社制度 その他	(導入・契約(予定)時期)
実施予定					
検討中		(取組の概要)			
		(取組の効果額)	83 百万円(年)	(取組の効果額内訳)	・送配水管整備事業(DB) 年▲23百万円 ・浄水場建設事業(DB) 不明 ・浄水場運転維持管理(O) 年▲60百万円
		(検討状況・課題)			